



インターネットでの情報提供	
提供予定月日	平成25年4月18日

平成25年4月17日（水） 県政記者クラブ配布資料		
担 当 課	担当者氏名	電話番号
林政部 恵みの森づくり推進課	長沼 慶拓	直通 058-272-8472 内線 3031

## 「ぎふ木育30年ビジョン」の策定について

岐阜県では、平成15年の「緑の子ども会議」を皮切りに、幼児から大人まで幅広い年齢層を対象として、森林環境教育、木育の取組みを進めてきました。

その結果、県民の皆さんの認識度が高まり、独自に取り組むNPO等の団体も増えてきたことから、「ぎふ木育」をさらに積極的に県民協働で進めていくため、その目指す姿や理念を共有する「ぎふ木育30年ビジョン」を策定しましたので、お知らせします。

今後、県内全ての幼稚園・保育園、小・中・高校や、木育に取り組む各種団体（NPO、子育てサークル等）への配布のほか、保育士や学校教員向けの研修会テキストとしての活用や、分かりやすい活動事例集「ぎふ木育カリキュラム」の作成・普及などにより、「ぎふ木育」を浸透させるとともに、平成27年の開催を目指す「第39回全国育樹祭」に向け、清流の国ぎふの森林を守って活かす“人づくり”に取り組んでまいります。

### 記

#### 1 ビジョンに示す「目指す姿」

子どもをはじめとする全ての県民が本県の森林（自然）に誇りと愛着を持ち、森林に対して責任ある行動<sup>\*</sup>をとることができる人づくりを目指します。

##### ※「森林に対して責任ある行動」

「間伐体験に参加する」、「薪づくり体験に参加する」などの直接的な行動はもちろんのこと、「木のおもちゃを購入する」、「木造住宅に住む」などの間接的な行動などを通して、森林や山村地域の産業を支えていくこと

#### 2 ビジョンの基本的な考え方

##### ①長期的に育む ～生まれてから次の世代を育てるまで～

30年とは、人が生まれた時から次の世代を育てるまでを目安として表しています。今後30年間の社会情勢等の変化に対応していくためには、長期間を貫く理念を関係者で共有する必要があります。

## ②「つながり」で育む ～ぎふ木育でつながる“人づくり”～

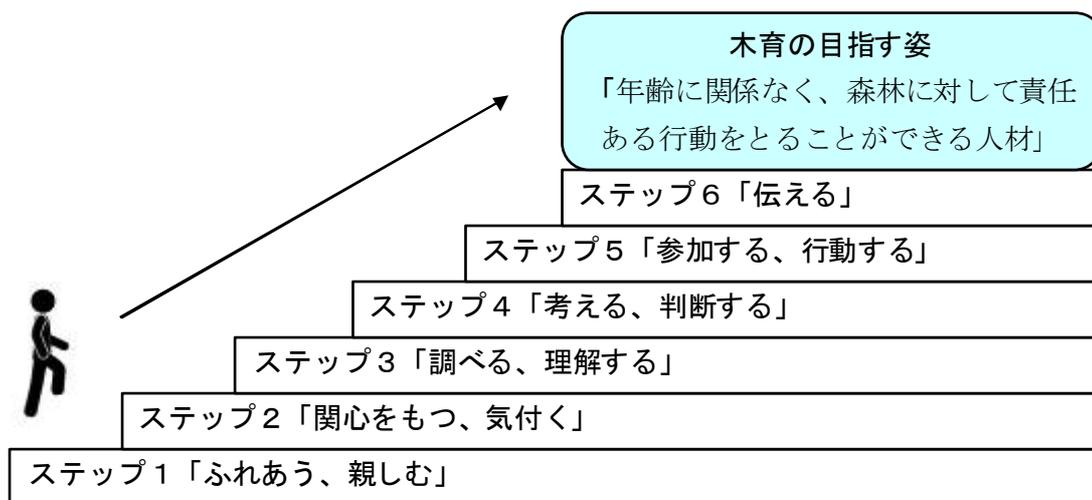
「ぎふ木育」のキーワードは「つながり」です。産業や歴史と木育とのつながり、森・川・海のごつながり、地域と学校のごつながり、体験活動と指導目標のごつながり、世代間のごつながり・・・など。ぎふ木育の取組みによって、点がごつながり線となり、線が面へと広がることを目指します。

## ③段階的に育む ～6つの取組みを段階的に～

目指す姿に向けて必要なステップを、習熟度により段階分けするとともに、教育の現場を強く意識し、それぞれの学年を想定した具体的な活動を例示しています。

将来的に行動できる人を育てていくには、全てを一度に理解させようとするのではなく、段階的・継続的なステップに基づく丁寧な取組みが必要です。子どもに限らず、大人を対象にした場合も同様です。

例えば、「もっと木を使ってもらいたい」というような「行動する」段階を突然求めるのは無理があり、自主的な行動を促すものにはなりません。「ふれあう、親しむ」の段階から経験することが、本当にその人の中に残るものとなり、「行動する」ことにつながっていきます。



(人の成長段階)	(キーワード)	(「木材」をテーマとした場合の活動例)
ステップ1 (幼児期)	「ふれあう、親しむ」	… 木のおもちゃで遊ぶ
ステップ2 (小学校低学年)	「関心をもつ、気付く」	… 木工道具の使い方を知る
ステップ3 (小学校高学年)	「調べる、理解する」	… 製材所や建築現場を見学する
ステップ4 (中学校)	「考える、判断する」	… ニーズに合った木製品を製作する
ステップ5 (高校・大学)	「参加する、行動する」	… 地元の木を使った木製品を選ぶ
ステップ6 (成人期)	「伝える」	… 木を身近に感じる子育て環境をつくる

※「ぎふ木育30年ビジョン」の本編は別途配布いたします。